

## 「震災体験談サイト」製作の取り組みと寄稿のお願い

マンション管理士 鈴木裕人  
福島県マンション管理士会所属  
マンションサポート福島代表



日ごろより日管連役員の皆様・会員会の皆様には、多大なるご指導・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。さて、3月11日から始まった東日本大震災。小職の事務所では、今こそマンション管理士の理念が何たるかが試される時と考え、被災したマンション管理組合・分譲マンション関係者の方々の体験談をインターネット上で広く共有すべく、「震災体験談サイト（仮称）」の製作を進めております。

### ——石巻市内のマンション管理員の体験談から抜粋——

居住者の中に、ご老人の方で日中一人の方がいるんです。それを知ってたので、その人のところにまず「大丈夫ですか？」って行ったら、ベットがあるんですが、ベッドの上はそのタンスが倒れていて、おばあさんが下敷きになっていたもんですから、タンスを起こして助けました。まあ行くまで凄かったですけども、色んな物が散らばっていて……

### ——仙台市内のマンション管理員の体験談から抜粋——

震災証明は「全壊」です。私もその2階で揺れに出会ったんですけれども、動けなくてしまい、エレベーター塔の軋みとエキスパンションの廊下、渡り廊下の軋みで青ざめましたけどね。初めての経験。コンクリート片がバラバラと大きなものが落ちて、非常に怖かったですね。エレベーターは（シャフト内の）鉄骨が歪んでしまっ……

### ——多賀城市内のマンション管理員の体験談から抜粋——

津波でタンクローリーとかねトレーラーとかねザーッと流れて来てね、ここにはまっちゃって。その間にもランクルとかね。それから人がどんどん流れて来て、軽自動車がひっくり返った。そしてドアが開いて女の人が出てきた、コロン、と。流れは速いし本当に水は冷たいしで、助けられたのは最初の女の人だけでしたね。居住者の着物の帯を結んで2階から引っ張って、塀樋のパイプにつかまらせて引き上げた……

### ——福島市在住のマンション居住者の体験談から抜粋——

震災当日、水道は深夜から使えなくなっていました。ただし電気はすぐに使えるようになっていたので、一時の大騒ぎで済んだかのような案外のんびりした雰囲気でもありまし

た。市内の全域が断水であることは聞いていても、自分のマンションは出ているから大丈夫なんて安易に思っていたりするものです。その翌日からは受水槽内の残り分も使いきり、このマンションも断水生活が始まりました。給水時間を待って指定の給水場所に並ぶ、持参の容器に水を満たして帰って来る、それを高層階のマンション自室に運び入れる、これが一日に数回の日課ですから、このために生きているような……。これで停電が続いてエレベーターが使えなかったとしたら、若者だって「もうマンションは嫌だ」と恨み節が出るでしょうし、老人では到底続かなかったでしょう。飲み水や調理に使う位の水の量は買っても貰うために並んでも調達可能ですし、フロヤ洗濯は少しなら我慢していられますが、やはりトイレの流し水の不足が最大の問題になって来ます……

——福島市在住のマンション管理士の体験談から抜粋——

現在、顧問先のマンションでは放射線測定器を購入し、管理組合が共用部分の放射線量を毎日測定して、住民向けに掲示しています。発注してから納品まで2ヶ月余りもかかった測定器は10万円強のいわゆる簡易測定器ですが、自治体が使用しているものと同じ、精度に信頼が置ける日本製で少数第3位まで測定可能なものです。集合玄関、ホール、共用通路、ゴミ置場、駐輪場、プレイロット、歩道上等、当マンションで生活して行く上で毎日利用する場所が測定対象となります。勿論、ルール作りをした上、各居住者にも自室の測定のために貸出をしています……

——仙台市内のマンション管理員の体験談から抜粋——

地震の後の1回目の理事会は、3月はできなくて、4月下旬ですね。皆さんそういう余裕がなかったですからね。4月になってから建物自体をどうするか、って協議をしたみたいですね。それから月1回はやっています。今はもう平常に戻ってしまして、被災した箇所を直す方向で理事会を開いています。先日臨時総会がありまして、予算も決まりまして、あとはやるってことで。工事はだいたい9月初めか8月末か、その頃でしょうか……

---

いかがでしょうか。以上は頂いた体験談からごく一部を抜粋したのですが、全文の方にも各マンションの壮絶で貴重な体験が詰まっています。既に10件の取材を行いました。これからは「復旧工事」に焦点を当てた取材を増やしていきたいと考えているところです。また、マンション管理士を中心に数件の寄稿も頂いてしまして、この場をお借りして皆様へのお願いです。今後の大規模災害対策の一助となるよう、どうぞ震災にまつわる皆様の体験談をお寄せください。

お問い合わせ先：

マンションサポート福島 024-525-4043 (担当：渡邊・安斉)

[info@ms-fks.org](mailto:info@ms-fks.org) <http://ms-fks.org>